

38  
号

平成 27 年 8 月発行  
発行所（公財）森林ネットおおいた

—魅力ある林業の職場づくりをめざして—

# おおいた 林業雇用だより



## 目 次

▶表紙	1
▶森林の仕事ガイダンス	2
▶林業雇用管理研修会	3
▶職場から労働災害をなくそう	4
▶マダニの感染症	5
▶認定事業体紹介 第 14 回 玖珠郡森林組合	6
▶県内における認定事業体	7
▶お問い合わせ	8

# 平成 26 年度「森林の仕事ガイダンス」

～日田・大分会場を実施～

## HITA

平成 26 年 12 月 10 (水) 大分県日田市  
総合庁舎において「森林の仕事ガイダンス」を昨年に引き続き日田市で開催し、

本年度は日田林工高校の生徒 74 名と一般相談者 4 名の参加がありました。

県外からは、広島県から 1 名の参加があった。

相談員として、13 の事業体、総合相談コーナーの 14 のブースを設けた。相談者は、各ブースを回って林業の生の声を熱心に聞いていた。



一般相談者  
20 代 ... 1 名  
40 代 ... 1 名  
50 代 ... 1 名  
不 明 ... 1 名

高校生  
1 年生 ... 35 名  
2 年生 ... 39 名

## OITA

10 代 ... 2 名  
20 代 ... 7 名  
30 代 ... 5 名  
40 代 ... 3 名  
50 代 ... 3 名  
60 代 ... 1 名  
不 明 ... 6 名

参加がありました。

県外からは、京都府から 1 名の参加があった。

相談員として、12 の事業体、大分県椎茸振興協議会、ハローワーク大分、総合相談コーナーの 15 のブースを設けた。相談者は、各ブースを回って林業の生の声を熱心に聞いていた。



# 林業雇用管理研修会の開催

認定事業体の事業主、雇用管理者責任者等

89名（59の県内林業事業体）が参加されました。

日時・・・平成27年6月25日（木）

場所・・・大分市（大分県林業会館）

## 「労働災害をなくすために」

大分労働局 労働基準部健康安全課  
地方産業安全専門官 池辺 雅文 氏

現場での労働災害をなくすため、県下の現状を踏まえて、何が必要か等についてご講演を頂いた。

- ・大分県内林業死亡災害の分析結果、対策
- ・林業作業の特徴
- ・災害ゼロを目指して  
事業者と現場責任者の実践事項
- ・大分県内木材伐出機械等による  
労働災害の発生状況

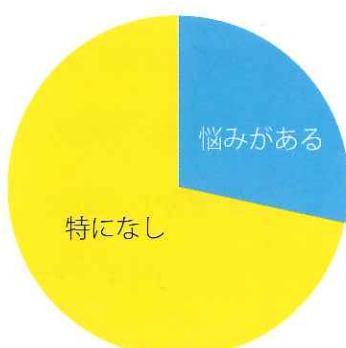
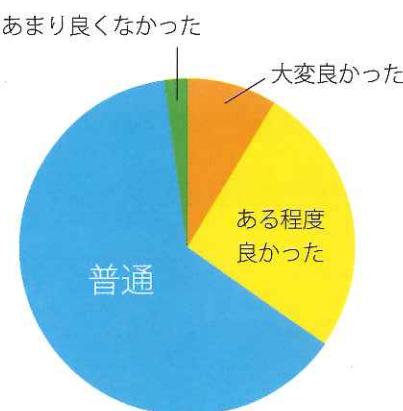
## 「職場でのコンプライアンスについて」

特定社会保険労務士 福田 数裕 氏

これまでの相談事例等をふまえて、労務管理、就業規則の整備の必要性についてご講演を頂いた。

- ・無期労働契約転換に関する相談など  
ほか21の相談事例と回答
- ・労務管理のアドバイス

## アンケート集計結果



【1】雇用管理研修会はどうでしたか？

【2】現在の雇用管理面での悩みは？



### 《池辺氏 資料より》

大分県内で発生した林業死亡災害の分析結果

※平成17年～平成26年調べ

年齢 (人)	12人（林業7.2%）		166人（全業種）	
	60歳以上	60歳以下	経験20年以上（3）	経験20年以上（2）
" "	" "	" "	10～20年（1）	5～10年（2）
" "	" "	" "	～5年（2）	1年未満（1）
原因 (人)	(伐倒木等に)激突された (8)		交通事故 (3)	墜落等 (1)



- ・無期労働契約転換の取扱について。
- ・人員確保。
- ・リスクアセスメント等、その手法など含んだ労働安全衛生管理に取り組みたいと考えている。
- ・安全指導に関して事業主と雇用者で意見がぶつかる。
- ・若い人が来ない。
- ・現場での作業による技術を向上させたいが、やはり災害面が気になってしまう。
- ・労働者の高齢化。
- ・若い新人社員が続かない。

# 職場から労働災害をなくそう

事業者の方、作業者の方々も、協力して日頃から職場の中に潜んでいる危険の芽を取り除く活動を積極的に進めていきましょう。

各種講習会への  
参加と共有

月1ペースで  
**「ヒヤリハット」**  
報告・話し合い

リスクアセスメント  
と  
KYT(危険予知活動)

安全は服装から

労働基準監督署や森林組合が開催する災害防止関係の講習会への参加。受講後は、全従業員で講習会の内容を**共有**し、話し合いをしましょう。

作業後、各自記入・報告する習慣をつけましょう。月1で社内全体で内容を共有し各種対策の徹底を図りましょう。

**ヒヤリハットは  
危険信号です！**

\*1 ヒヤリハット … 重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一步手前の事例の発見。

リスクをお互いが気付き、感じあえる職場づくりが大切です。

**①危険要因の洗い出し**  
**②リスクの見積**  
**③対策の検討・実施**  
また事前に例をあげて社内全体で危険予知訓練をしましょう。

袖・裾まじまりのよい長袖長ズボンで赤や黄など目立つ色を着用しましょう。防護具は正しく着用しましょう。作業前に確認を。

\*2 リスクアセスメント … 作業がどれくらい危険か（リスク）をランクづけし事前に評価（アセスメント）すること。

ヒヤリハット報告書 (例)

所属・氏名				
発生日時	年	月	日	曜日
どこで				
何をしていた	5名で杉を伐採し搬出する作業の前作業として、雑木を伐採する作業を行っていた。			
発生状況の詳細	傾斜角25度の斜面において、谷側に重心が偏っている直径20cm、高さ約14mのクヌギの伐採作業を行っていた。			

問題があったと考える項目に発生当時の状況とその対策を記入してください

【作業環境】 その木を誰が伐採するか等 当日に決定され、具体的な 作業方法は決められていなかつた。	【作業方法】 受け口が浅く、また、「下切り」と 「斜め切り」の終点が一致して おらず更に、伐採する木の重心が 谷側にあったため、追い切りの 途中で木が裂けてしまい、予定 した方向でない方向へ倒れた。	【設備機器】 チェーンソー
--	---	------------------

【今後の対策】

- ①伐採する木の傾き具合などの形状や周囲の状態などに配慮した適切な作業手順を定め、それに従い作業を行う。
- ②避難場所の確保を確実に行う。

【個人的に発生していた問題】

【心身分析】(該当項目に印、複数回答可)

1.よく見え(聞こえ)なかった ④知らなかつた 7.気づかなかつた 10.無意識に動いた	2.慌てていた ⑥深く考えなかつた 8.機嫌が悪かつた 11.作業しにくかつた	3.忘れていた 6.大丈夫だと思った 9.疲れていた 12.体のバランスを崩した
---	--	---



## + 林業安全遵守6原則 +

1. 作業の開始前は、作業手順と役割分担の再確認
2. 作業者間の安全な距離の確保と危険範囲の立ち入り禁止
3. 伐木、伐倒方向、避難場所の確認と合図の徹底
4. かかり木処理はチルホール、一人作業は禁止です
5. 問題発生まず報告、みんなで検討対処する
6. 確認作業は指差し連呼